

◎ 大江町立大江中学校

地域から学び、学びを地域に発信していく活動

～観光ボランティアガイドを目指した、総合的な学習の取り組みより～

地域の資源を活用した学び

第三学年の総合的な学習の時間を利用し『観光ボランティアになろう』という学習を実施しています。

学びの柱は、次の4点です。

- ①大江町観光ボランティアガイドの方の協力を得て、左沢駅を中心に名所・旧跡などをめぐる。
- ②自分達が歩いて学んだところを、夏季休業期間を活用し家族を案内する。
- ③「文化的景観を活かした町づくり」に取り組む担当の方の講話を聞き、町並みの特色などを理解する。
- ④自分達の視点から見た『魅力的なコース』やPRするプレゼンテーションを考え発表し、発表に活用した資料は、町の施設などに展示する。



ふれあい会館下の防空壕の中
(ボランティアガイドの方と歩く)

地域への発信を通じて

学びを振り返って生徒達はこんな感想を残しています。「何気なく歩いている町が、ガイドさんの説明を聞くことで違った財産に見えてきた。」「視点を変えるだけで、日常の風景から、多くの発見がある。」「大江町が自分の故郷であることに誇りが持てるようになった。」

今回の取り組みを通じて、生徒達一人一人が、自分達の町を自分達の足で確かめる中で、「町の見つめ直し」をすることができました。

また、保護者を対象とした発表会、町の公民館・町内の温泉施設などへの展示を通して、「中学生も地域に貢献できる」ということを地域に示すとともに、地域の方々からは「中学生の視点がいい。」「もっと多くの人に知ってもらわなければならない活動だ。」という評価を得ることができています。



私達のお勧めコースの紹介
(学校参観日を活用して、保護者にプレゼン)

◎ 真室川町立真室川あさひ小学校

伝承文化の里 真室川あさひ小学校

平成25年4月に、安楽城小、差首鍋小、平枝小の3校が統合し、保護者や地域の方々から支えられて、「あいされ、ささえあい、ひとみ輝く あさひっ子の育成」を目指して、真室川あさひ小学校がスタートしました。2年目になる今年度の児童数は63名、学区内の戸数は578戸です。統合にあたって心配された課題もこのほかスムーズに解決され、ずっと前から一つの学校であったかのように感じる毎日です。

本校では、旧3校に引き継がれてきた伝承文化を継承していくことに力を入れて取り組んでいます。学校の畑では、旧安楽城地区に伝わる「甚五右エ門芋」や「勤次郎胡瓜」などの伝承野菜を栽培し、秋には祖父母とともに収穫して感謝祭をします。クラブ活動では、子どもたちの希望に基づき、旧安楽城地区に伝わる「童唄」や旧差首鍋地区に伝わる「昔語」の継承に取り組んでいます。また、総合的な学習や課外活動では、旧平枝地区に伝わる「平枝番楽」や「炭焼き」を体験しています。それぞれの活動は、地域の保存会や継承者の方を指導者をお願いして取り組んでいます。そして、活動の成果を、学校の文化祭や町の伝承祭で発表しています。

これからも伝承文化はもちろんのこと、地域からさまざま

なことを学びながら、地域とともに歩む学校を目指していきたいと思っています。



伝承野菜の栽培



童唄